

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び保育園を含む）で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、福祉に係る全般的窓口として、各種福祉サービスの申請及び手当等の支給や民生委員児童委員に関すること、日本赤十字に関すること、障がい福祉に関すること等である。

福祉全般にわたる相談を行い、相談者のニーズに合った福祉サービスが提供できるよう、きめ細やかな対応に努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、いきいきサロン事業等を実施した。また、高齢者福祉関係として、軽度生活援助員派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当及び紙おむつ購入費助成等の介護予防や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため包括的支援事業等を実施した。また、高齢者ふれあい相談員が、ひとり暮らしや高齢世帯を定期的に訪問し、安否の確認等を実施した。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。さらに、各種がん検診、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診を実施した。また、女性特有のがん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診勧奨を図った。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談等を実施した。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を実施した。つが健康づくり21推進事業では、関係団体と連携し重点取組に基づき健康づくりを推進した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所では、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭で保育ができない保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達、育成を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員27人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
57	13	4	27	4	38
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
6	20	8	316	493	18.3

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
709	12	568	1,957	2,874	6,120	226.7

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
1,194,550	1,224,550	102.5

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	2世帯	5人	2枚	2組	1個

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
2	-	-	-	-

(4) 講習会等

	実施回数(回)	参加者数(人)
健康生活支援講習	1	26
幼児安全法短期講習	1	24
救急法基礎講習	1	23

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、栃木市社会福祉協議会に委託(指定管理)し、実施した。

- ・施設名 都賀地域活動支援センター

- ・所在地 都賀町家中2357
- ・開所日数 246日
- ・通所延べ人員 603人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。(単位：人)

区 分		実施状況
交付者数		191
	うち高齢者(80歳以上)	120
	高齢者(65～79歳)	13
	障がい者	41
	腎臓機能障がい者	17

5 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況) (単位：人)

障がい区分	手帳所持者数	平成24年度中交付者数
視覚障がい	28	-
聴覚・平衡障がい	62	1
音声・言語・そしゃく障がい	6	-
肢体不自由障がい	232	17
内部障がい	127	9
複合障がい	15	-
合 計	470	27

6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数) (単位：人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	-	5	23	19	47
中度(B1)	2	2	11	9	24
軽度(B2)	3	4	8	3	18
合 計	5	11	42	31	89

7 身体障がい者(児)の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者(児)の補装具交付及び修理 (単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	-	-	-	-	-	-

装 具	下 肢	3	1	4	-	-	-
	靴 型	-	-	-	-	-	-
	体 幹	-	-	-	-	-	-
	上 肢	-	-	-	-	1	1
座 位 保 持 装 置		1	4	5	-	1	1
盲 人 安 全 つ え		-	-	-	-	-	-
義 眼		-	-	-	-	-	-
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	遮 光 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	弱 視 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
補 聴 器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	5	2	7	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	2	-	2	-	-	-
車いす	普 通 型	2	2	4	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-
電 動 車 い す		-	-	-	-	-	-
起 立 保 持 具		-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 い す		-	-	-	-	-	-
歩 行 器		1	2	3	-	-	-
歩 行 補 助 つ え		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特 例 補 装 具		-	-	-	-	-	-
合 計		14	11	25	-	2	2

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	-	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-

特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視 覚 障 が い 者 用 拡 大 読 書 器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	1	-
点 字 図 書	-	-
ス ト マ 用 装 具	25	-
紙 お む つ	5	1
収 尿 器	1	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	32	1

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：件）

種 別	給付決定件数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	-

心臓機能障がい	5
腎臓機能障がい	31
計	36

9 各種手当の状況 (単位：件)

種別		給付決定件数
特定疾患介護手当		15
重度心身障がい児扶養手当		1
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	-
	障がい児福祉手当	2
	福祉手当(経過的)	-
特別児童扶養手当		1

10 障害者相談支援事業

都賀総合支所においては、健康福祉課の職員が直接障がい者の相談支援を行った。

11 身体障がい者等福祉関係

知的障がい者の自立更生について、1人の知的障がい者相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口(都賀地域4月1日現在)

区分	年度		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	13,539	13,527	13,479
65歳以上人口(人)	3,146	3,163	3,262
総人口に対する割合(%)	23.24	23.38	24.20

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様(都賀地域) (5~6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		3,262	100
内 訳	独居	247	7.6
	高齢者世帯※ (世帯数)	564 (272)	17.3
	その他	2,451	75.1

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業（都賀地域）

9月1日（基準日）において本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	93
90歳	20,000	46
95歳	30,000	12
100歳	100,000	6
101歳以上	50,000	4

3 敬老会事業（都賀地域）

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 31自治会等
- ・補助金額 1,133,000円

4 老人クラブ育成指導事業（都賀地域）

老人クラブ連合会都賀支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 23クラブ
- ・市老人クラブ連合会都賀支部会員数 811人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 本庁高齢福祉課で支払
市連合会都賀支部助成 本庁高齢福祉課で支払

5 老人スポーツ大会（都賀地域）

老人クラブ連合会都賀支所主催（事務局：栃木市社会福祉協議会都賀支所）で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

- ・実施日 10月12日（金）
- ・会場 都賀体育センター
- ・参加人員 408人

6 高齢者配食サービス事業（都賀地域）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調

理困難な方

- ・ 宅配個数 2,091個
- ・ 宅配人数 31人（実人数）
- ・ 宅配業者

(株)金時給食センター	柳橋町6-29
(有)ききょう	吹上町1401
ワタミタクシヨク（株）	仲方町306-5
(社)スイートホーム	都賀町原宿1424-1

7 日常生活用具購入費助成事業（都賀地域）

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・ 日常生活用具購入費助成状況 （単位：件）

品 目	件 数
老人福祉車	24
小型暖房器具	-
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

8 日常生活用具レンタル料助成事業（都賀地域）

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・ 日常生活用具レンタル料助成状況 （単位：件）

品 目	件 数
電動小型吸引機	4
特殊寝台	1
じょく瘡予防用具	-

9 緊急通報装置設置事業（都賀地域）

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・ 設置状況 （単位：台）

既設置台数	平成 24 年度設置台数	平成 24 年度撤去台数	計
55	11	10	56

10 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業（都賀地域）

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
106	114	220

11 紙おむつ購入費助成事業（都賀地域）

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
116	114	230

12 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業（都賀地域）

- ・利用者数 -人
- ・延べ回数 -回（-時間）

(2) 軽度生活援助員派遣事業（都賀地域）

- ・利用者数 1人
- ・延べ利用時間数（単位：時間）

家事	-
除草	8
植木手入れ	-
大工	-

(3) 在宅高齢者短期入所事業（都賀地域）

- ・利用者数 -人
- ・延べ宿泊数 -日

13 都賀老人憩いの家白寿荘

都賀老人憩いの家白寿荘の清掃等管理業務を、栃木市シルバー人材センター（都賀支所）に委託して実施した。

・年度中利用者数（単位：人）

区分	年度		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者	1,745	1,508	1,408

- ・開館日数 239日
- ・利用者 主に60歳以上の高齢者・高齢者の趣味活動グループ

14 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数(件)
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	494
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	15
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	1
転入・転出・転居 資格管理等	3
転送希望届申請 受付・入力	15
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	107
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	2
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	6
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	6
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	33
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	21
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	46
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	67
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	38
オムツ使用証明申請 受付・発行	2
介護保険事業者事故報告 受付	-

15 任意事業

(1) 介護給付等適正化事業

介護給付等において、利用者に介護サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。

・介護給付費通知書郵送件数 (単位：通)

8月郵送件数	2月郵送件数	合計
413	421	834

(2) 家族介護支援事業

生活・介護支援サポーター養成研修

地域で高齢者の生活を支える基盤を整備する目的により、社会福祉法人スイートホームに委託して実施した。

・実施期間 2月13日(水)～3月1日(金)

・受講者 14人

(3) 高齢者地域見守り支援事業（いきいきサロン事業）

ひとり暮らし、日中ひとり暮らし、閉じこもりがちな高齢者を対象に介護予防事業

として、健康チェック・レクリエーション・趣味活動等を栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

- ・実施回数 51回（月4回程度実施）
- ・利用者数 実数 35人
延べ数 771人
- ・時間 午前9時30分～午後3時30分
- ・実施施設 あいあいプラザ・都賀保健センターほか

16 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

区分	件数	実件数	延べ件数
面接		264	284
電話相談			294
家庭訪問		25	25
連絡調整			106

17 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

名称：都賀地域包括支援センター 都賀町原宿 585-2（都賀保健センター内）

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

- ・二次予防事業対象者把握状況 （単位：人）

基本チェックリストによる対象者数	266
訪問等により把握した対象者数	19
合計	285

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上および対象者の身体状況に合わせたプログラムも取り入れた教室を実施し、自立した生活の確立と自己実現の支援を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	12	99
栄養改善	6	19
複合型機能向上	20	104
閉じこもり予防	12	45
合計	50	267

(ウ) 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。また、二次予防事業対象者になるおそれのある高齢者を対象に看護師が訪問し生活機能低下予防の相談指導を行った。

・実施状況 (単位：件)

対象者数	訪問回数	訪問者
1	1	栄養士

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

a 健康教育・介護予防講演会

一次予防事業対象者に対して、自治会・民生委員・老人クラブの主催で、健康教育の一環として「おたっしや教室」を実施した。

また、介護予防講演会では、介護予防の必要性を理解し、自主的に介護予防に取り組む動機付けとし、自立した生きがいのある生活を送れることを目標に実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	57	771
栄養改善	9	106
認知症予防	9	125
閉じこもり予防	12	23
普及啓発	10	1,923
介護予防講演会	1	92
合計	98	3,040

b 祝敬老「長生きの秘訣セット」配付

9月の敬老月間に合わせて、70歳以上の高齢者のいる世帯に祝敬老「長生きの秘訣セット」を配付し、活動的な生活を送れるよう啓発した。

・配付物 パンフレット：「より良い生活を送るために」

冊子：介護予防で健康長寿「腰痛・膝痛を防ごう」

介護予防カレンダー「体を鍛えて若さを保とう」

(イ) 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
地区組織活動支援	7	173
認知症サポーター養成講座	5	230
合 計	12	403

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等が包括的効率的に実施されるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・実施状況

		件数(件)
二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況		33
要支援者の介護予防サービス計画作成状況	地域包括支援センター作成	25
	事業所委託	28
	合 計	53
サービス担当者会議実施状況		44
住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況		6

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身の状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面 接	38
電話相談	579
家庭訪問	372
合 計	989

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況に

ある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	16
高齢者虐待に関すること	7
権利擁護に関するケース会議	4
合 計	27

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

・ケアマネジャー連絡会（年3回）

(4) 任意事業

ア 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・訪問世帯数 338世帯
- ・相談員数 62人

イ はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなたひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 都賀地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会場・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、
高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 3センター（3自治会）
- ・委託料 780,000円
- ・実施回数・人数 延べ 201回・2,384人

健康増進担当

1 つが健康づくり 2 1 推進事業

健康づくりを総合的に進めるため、健康チャレンジ7つの里（食の里・歯の健康の里・健康診査の里・運動の里・いやしの里・たばこの里・アルコールの里）の健康チャレンジ実践目標に基づき、事業等に取り組んだ。

主な取組

- ・ 広報とちぎ等を活用して健康情報や取組の紹介
- ・ 都賀保健センター内のつが健康づくり 2 1 コーナーの充実整備
- ・ 各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
- ・ 運動の必要性の理解を深めるために運動教室の開催
- ・ 健康まつりや健診等において歯科指導の充実、歯の健康の普及啓発
- ・ 妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・ 妊娠届出数 99人
- ・ 母子健康手帳交付数 102人（妊娠届出99人、双胎-人、紛失等3人）

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査	12	104	102	98.1	10	1	2	-

(4か月児)								
乳児健康診査 (9か月児)	12	94	94	100	6	-	5	3
1歳6か月児 健康診査	4	83	83	100	20	6	-	5
3歳児 健康診査	4	92	91	98.1	17	4	4	7

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ア) 健康診査

・実施回数 4回

対象数	受診数	
	91人	79人(86.8%)
6人(7.6%)		

オ 乳幼児発達相談(二次健診)【数値は、本庁健康増進課で計上】

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、乳幼児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室【数値は、本庁健康増進課で計上】

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサルおふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、こどもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 6回

・参加者延べ数 43組

・内容 離乳食講話、ベビータッチケア、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぶ、ぺんぎんぐるーぶ)

【数値は、本庁健康増進課で計上】

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保

護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学校と連携し講演会を行った。

対 象	参 加 人 数
都賀中学校生徒及び保護者	408人

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 83組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町で共催して小学1年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 77人(小学1年生:52人 年長児:25人)

キ よい歯のコンクール【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

ク 幼稚園・保育園歯科指導事業

都賀地域の幼稚園・保育園を訪問し、年中・年長児を対象に歯科衛生士によるむし歯予防のための集団指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加者数 94人

ケ 親子クッキング教室

年中・年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 21人(5組)

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 50組

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。
(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
99	87	—	7	—	3	2

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 8件
- ・指導延べ数 8件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

オ のびのび相談室

何らかの発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導・育児支援を行った。

- ・実施回数 8回
- ・相談者数 9人

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（都賀地域17人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

(単位：人)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数	86	88	33	207

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

- ・実施回数 10回
- ・実施場所 都賀保健センター

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 8回
- ・参加者数 91人

(3) 特定保健指導

区 分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	38	21	55.3
動機付け支援	71	52	73.2
合計	109	73	67.0

4 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 10回
- ・受診者数 1,429人
- ・集団健診実施会場 都賀保健センター

5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を医療法人 宇都宮健康クリニックに委託し行った。

- ・実施会場数 24会場
- ・受診者数 1,237人

6 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内 容
バイキング実習	2	8	管理栄養士による講話及びバイキング実習
減る脂－教室	2	24	運動指導士によるストレッチ 管理栄養士による講話及び調理実習
からだスッキリ運動教室	10	121	運動指導士による運動講話及び実践

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 1回
- ・延べ相談者数 1人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・述べ相談者数 2人

・内容 管理栄養士による個別指導

・指導内訳

(単位：件)

高血圧症	－	糖 尿 病	2	腎 臓 病	－
脂質異常症	－	肝 臓 病	－	そ の 他	－

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 笑いヨガ講演会

内容：「笑いヨガを体験しよう！」～ここから笑って元気を満タンに～

実施日：3月22日（金）

会場：都賀保健センター

参加者数：36人

(2) 普及啓発活動

普及啓発用リーフレットを作成し、窓口及び各種事業時において配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で行い、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種

・ポリオ投与（小児マヒ）

・実施回数 2回

・実施場所 都賀保健センター

イ 個別接種

不活化ポリオ、BCG、四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ）、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

・子宮頸がん予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

・高齢者肺炎球菌予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数 7世帯

・保健師訪問指導 11人（延べ人数）

・内訳

（単位：件）

精神保健	5	妊産婦	—	幼児	1	生活習慣病	—
新生児	—	低体重児	—	他の疾患	1	その他	—
心身障がい	—	乳児	2				

10 健康まつり事業

市民の健康増進のため、まるまるまるごとつがまつりが開催された際に健康相談コーナーを実施した。

・実施日 11月17日（土）

・場所 都賀保健センター

・実施内容 歯の健康相談（歯周病チェック、ブラッシング指導）

脱メタボコーナー（体脂肪測定、味覚チェックテスト）

・延べ参加者数 163人

11 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	15	1	13	—	14	1

12 都賀保健センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。）（単位：人）

区分	会議室	和室	調理室	その他	合計
利用者数	425	185	252	50	912

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、都賀地域3か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数

（単位：人）

児童会名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
げんきっこ（合戦場小）	6	7	13	7	7	14	8	17	25	21	31	52
さくらんぼ（家中小）	1	3	4	2	3	5	4	6	10	7	12	19
キッズ（赤津小）	2	3	5	2	4	6	1	5	6	5	12	17
計	9	13	22	11	14	25	13	28	41	33	55	88

2 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金の交付事務を行った。

(1) 国庫補助事業

- ・ 交付対象人数 284人
- ・ 交付額 31,418,300円

(2) 県補助事業

- ・ 交付対象人数 2人
- ・ 交付額 149,250円

(3) 市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金

- ・ 交付対象人数 26人
- ・ 交付額 4,078,800円

(4) 市単独補助事業幼稚園奨励費国庫非該当世帯特別補助金

- ・ 交付対象人数 32人
- ・ 交付額 192,000円

3 地域子育て支援センターつが

(1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成22年度	10	86	25	59	-	-	-	140	320
平成23年度	183	515	186	34	10	2	-	887	1,817
平成24年度	284	489	535	90	35	12	-	1,266	2,711

(2) 活動状況

ア 定例遊び

すくすくタイム

- ・ 実施曜日 毎週木曜日
- ・ 実施時間 午前10時30分～11時30分
- ・ 実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・ 実施回数 計50回
- ・ 述べ参加者 1,651人

イ 特別活動

(単位：人)

No	活動名	参加人数
1	親子リトミック	145
2	親子エアロビクス	68

3	おはなし会	43
4	英語であそぼう!	33
5	バルーンアート	37
合 計		326

ウ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	22	22	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	10	10	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	9	9	-
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	22	22	-
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	3	3	-
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	11	11	-
そ の 他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	53	52	1
合 計		130	129	1

4 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給。

・児童手当受付件数 157件

5 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事 業 名	祝 金 額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	30
	第三子以降 20,000円	11

6 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方または両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種 別	受付件数
児童扶養手当	10
遺児手当	1

7 保育所

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位：人)

区分	保育園名	定 員	24年4月1日 入所児童数	途中入所 児 童 数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	都賀よつば保育園	120	127	5	0	132

イ 階層別児童数

(平成25年3月1日現在) (単位：人)

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	都賀よつば保育園	2	15	14	30	22	21	20	6	1	131

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ 年齢別児童数

(平成25年3月1日現在) (単位：人)

区分	保 育 園 名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	都賀よつば保育園	6	17	24	22	63	132

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	5月・10月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 日	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月14日(月)・10月15日(月)	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月14日(月)・10月15日(月)	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自分で考え行動する子ども
- ・喜んで話したり聞いたりする子ども
- ・人とかかわりの中で、相手を思いやる子ども
- ・豊かな感性を持つ子ども
- ・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日	
6月	衣替え	防犯教室、世代間交流
7月	七夕祭り	プール開き
8月		
9月		お月見会
10月		運動会、親子遠足
11月	七五三祝	園外保育、保育参観、親子給食会
12月		生活発表会、クリスマスの集い
1月		
2月	節分	まめまき
3月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会を開催

エ 障がい児保育の状況

- ・障がい児入所数

保育園名	人数（人）
都賀よつば保育園	1

- ・保育方法 混合保育

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成25年3月1日現在）（単位：人）

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	都賀よつば保育園	6	17	22	45

カ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

- ・設備、遊具等の整備点検
- ・避難訓練
- ・安全のための実施訓練
- ・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的実施

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定する。

イ 給食構成

- ・乳児－主食、副食、おやつ（完全給食）
- ・幼児－副食、おやつ

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
都賀よつば保育園	518	20.5	15.5	278	2.4	294	0.26	0.42	27	1.6
栄養給与目標	500	18.0	11～16	200	2.3	200	0.25	0.28	20	

(イ) 3歳以上児（副食＋おやつ）（平成24年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
都賀よつば保育園	397	19.9	16.1	283	2.3	346	0.26	0.45	32	1.8
栄養給与目標	400	19.0	13～19	270	2.5	200	0.32	0.36	20	

(7) 特別保育科目設定実施事業

世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園名	実施回数(回)
都賀よつば保育園	2